

「環境問題に関する世論調査」の概要

令和元年 10 月
内閣府政府広報室

調査対象	全国の日本国籍を有する 18 歳以上の者 3,000 人 有効回収数 1,667 人 (回収率 55.6%)
調査期間	令和元年 8 月 22 日 ~ 9 月 1 日 (調査員による個別面接聴取)
調査目的	環境問題に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
調査項目	1 プラスチックごみ問題について 2 自然共生社会について
調査実績	「環境問題に関する世論調査」(平成 21 年 6 月、24 年 6 月、26 年 7 月) 「自然の保護と利用に関する世論調査」 (平成 3 年 6 月、8 年 11 月、13 年 5 月、18 年 6 月) 「動物愛護に関する世論調査」(平成 12 年 6 月、15 年 7 月、22 年 9 月)
その他	① 平成 28 年度以降、調査対象者の年齢を 18 歳以上に引き下げたため、 20 歳以上で実施した 27 年度までの調査との比較には注意を要する。 ② 図表の数値(%)は、表章単位未満の位で四捨五入しているため、内訳の 合計が 100 にならないこともある。

1 プラスチックごみ問題

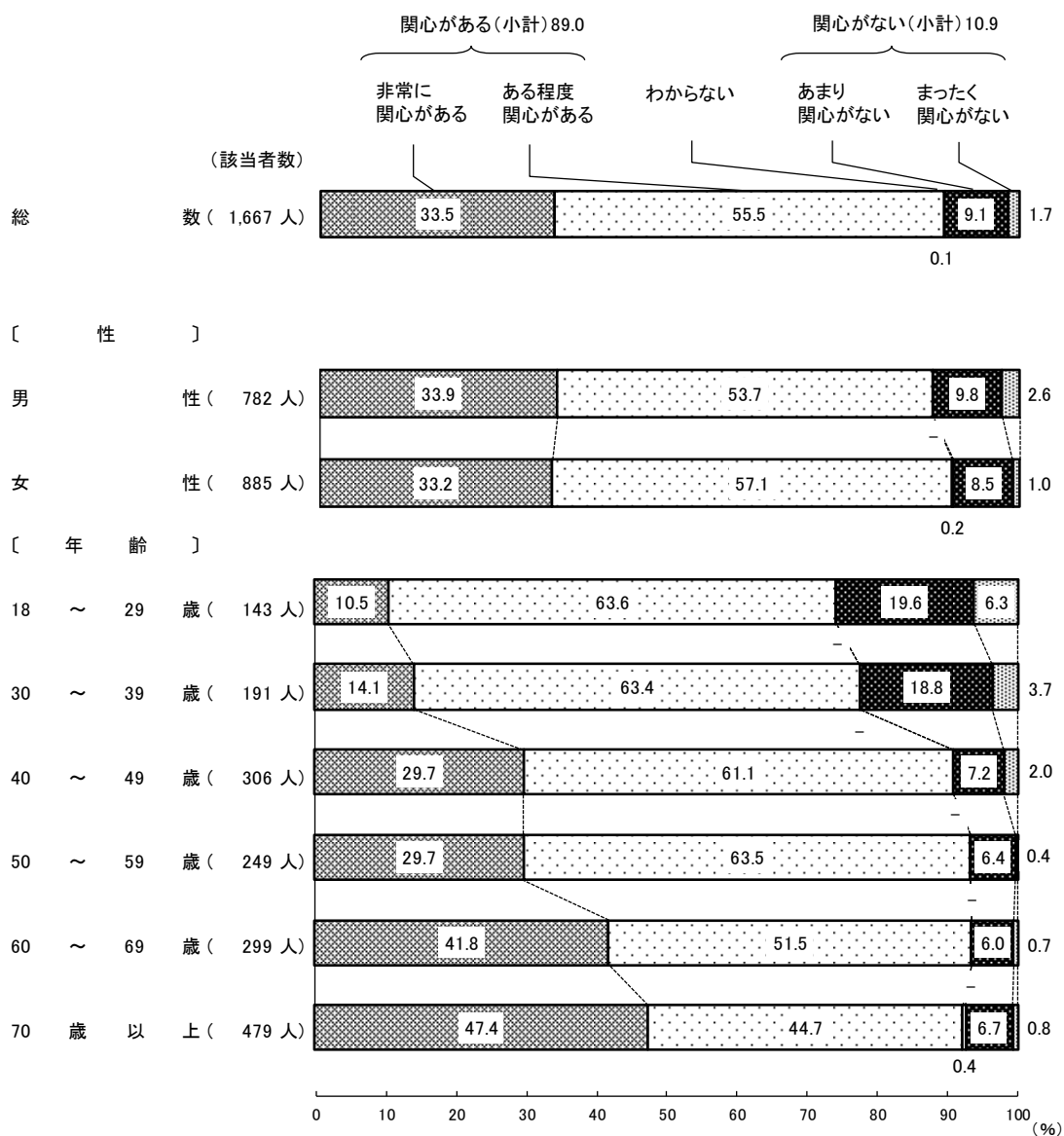
(1) プラスチックごみ問題への関心度

(資料1を提示して調査対象者に読んでもらってから質問)

問1 あなたは、プラスチックごみによる海の汚染などのプラスチックごみ問題に関心がありますか。この中から1つだけお答えください。

令和元年8月

・ <u>関心がある</u> (小計)	<u>89.0%</u>
・ 非常に関心がある	33.5%
・ ある程度関心がある	55.5%
・ <u>関心がない</u> (小計)	<u>10.9%</u>
・ あまり関心がない	9.1%
・ まったく関心がない	1.7%

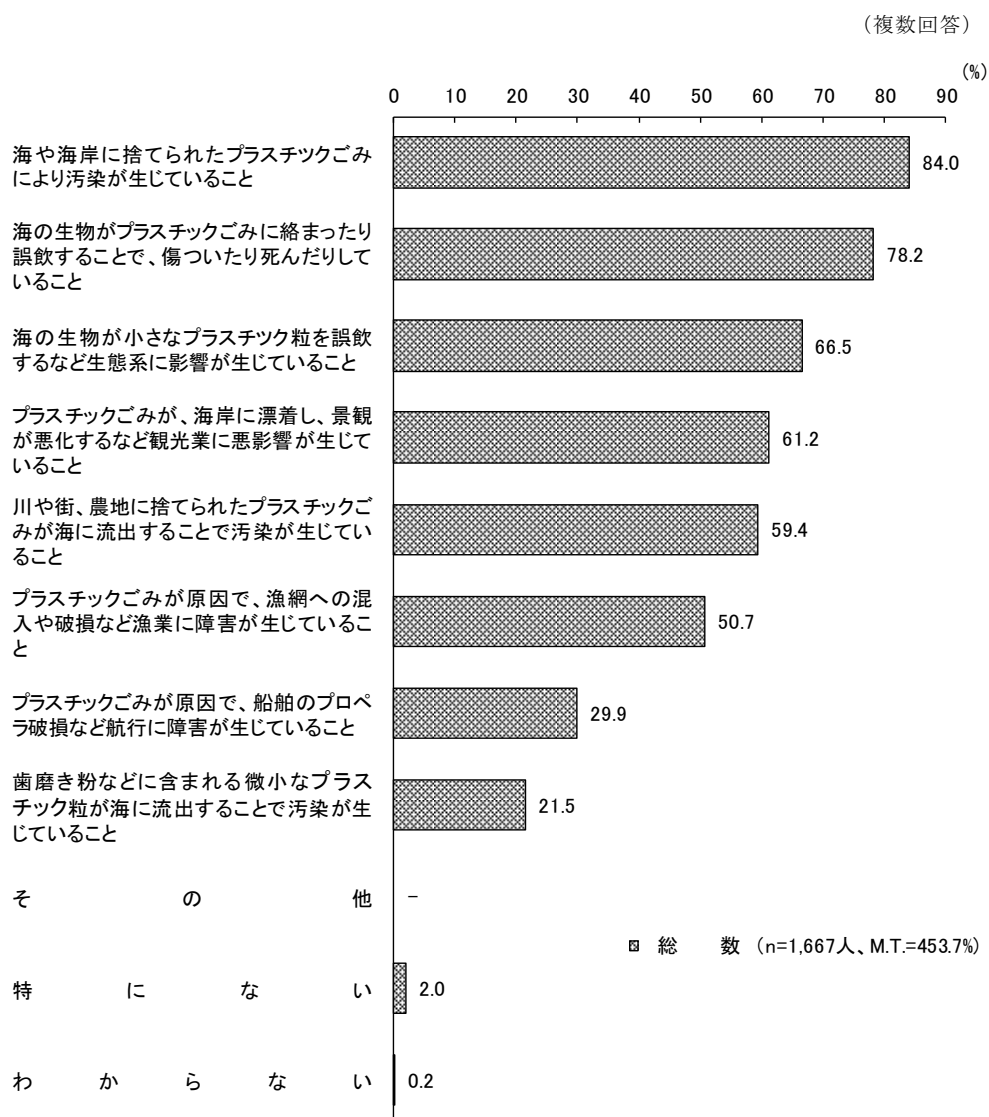


(2) プラスチックごみ問題への認識

問2 あなたは、プラスチックごみによる海の汚染について、どのようなことを知っていますか。知っていることを、この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位5項目)
令和元年8月

- ・海や海岸に捨てられたプラスチックごみにより汚染が生じていること 84.0%
- ・海の生物がプラスチックごみに絡まったり誤飲することで、傷ついたり死んだりしていること 78.2%
- ・海の生物が小さなプラスチック粒を誤飲するなど生態系に影響が生じていること 66.5%
- ・プラスチックごみが、海岸に漂着し、景観が悪化するなど観光業に悪影響が生じていること 61.2%
- ・川や街、農地に捨てられたプラスチックごみが海に流出することで汚染が生じていること 59.4%



(3) 過剰だと思うプラスチック製容器包装・製品

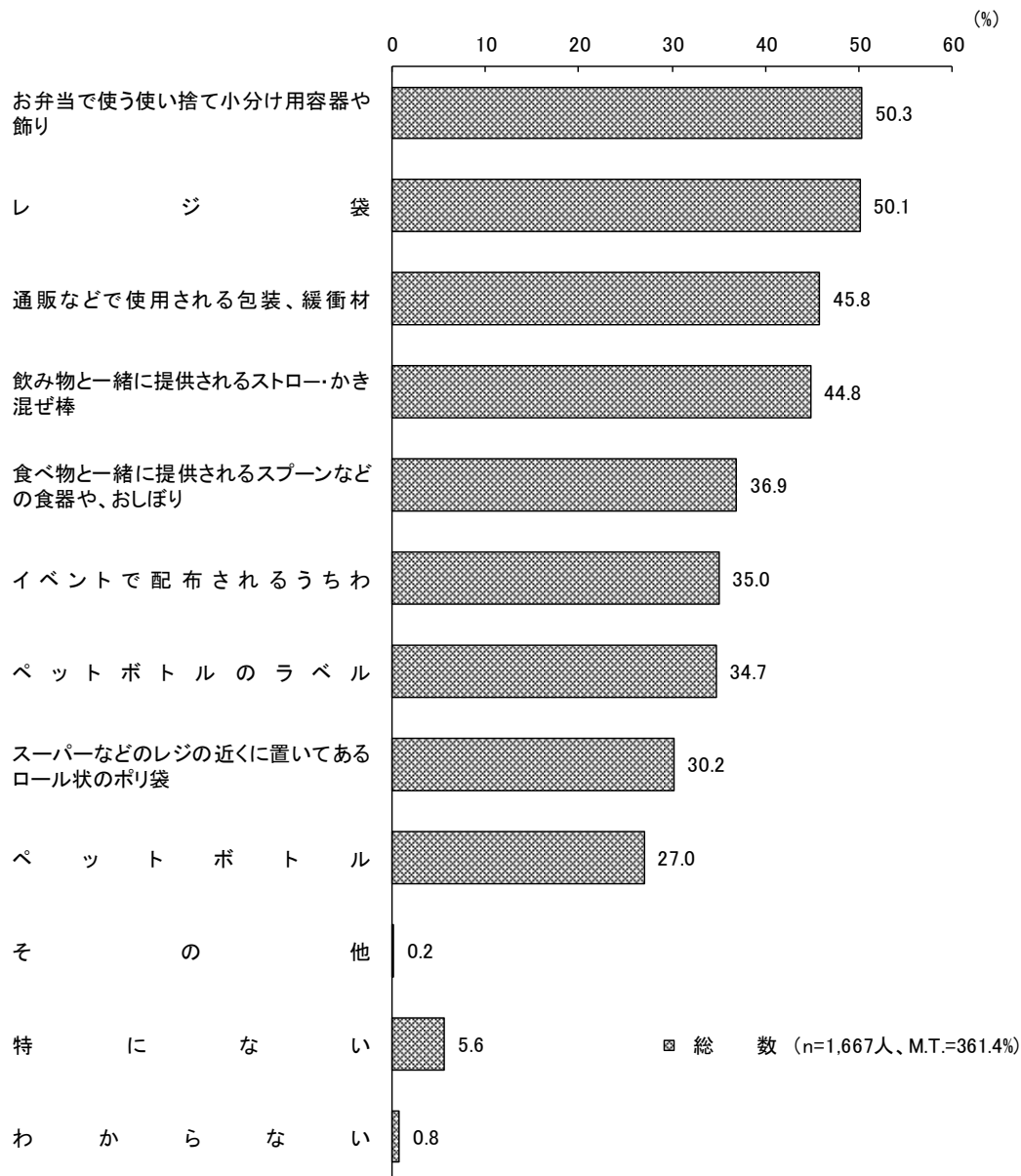
問3 あなたは、プラスチックを使用した様々な商品やサービスの中で、過剰だと思うものがありますか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位4項目)

令和元年8月

- ・お弁当で使う使い捨て小分け用容器や飾り 50.3%
- ・レジ袋 50.1%
- ・通販などで使用される包装、緩衝材 45.8%
- ・飲み物と一緒に提供されるストロー・かき混ぜ棒 44.8%

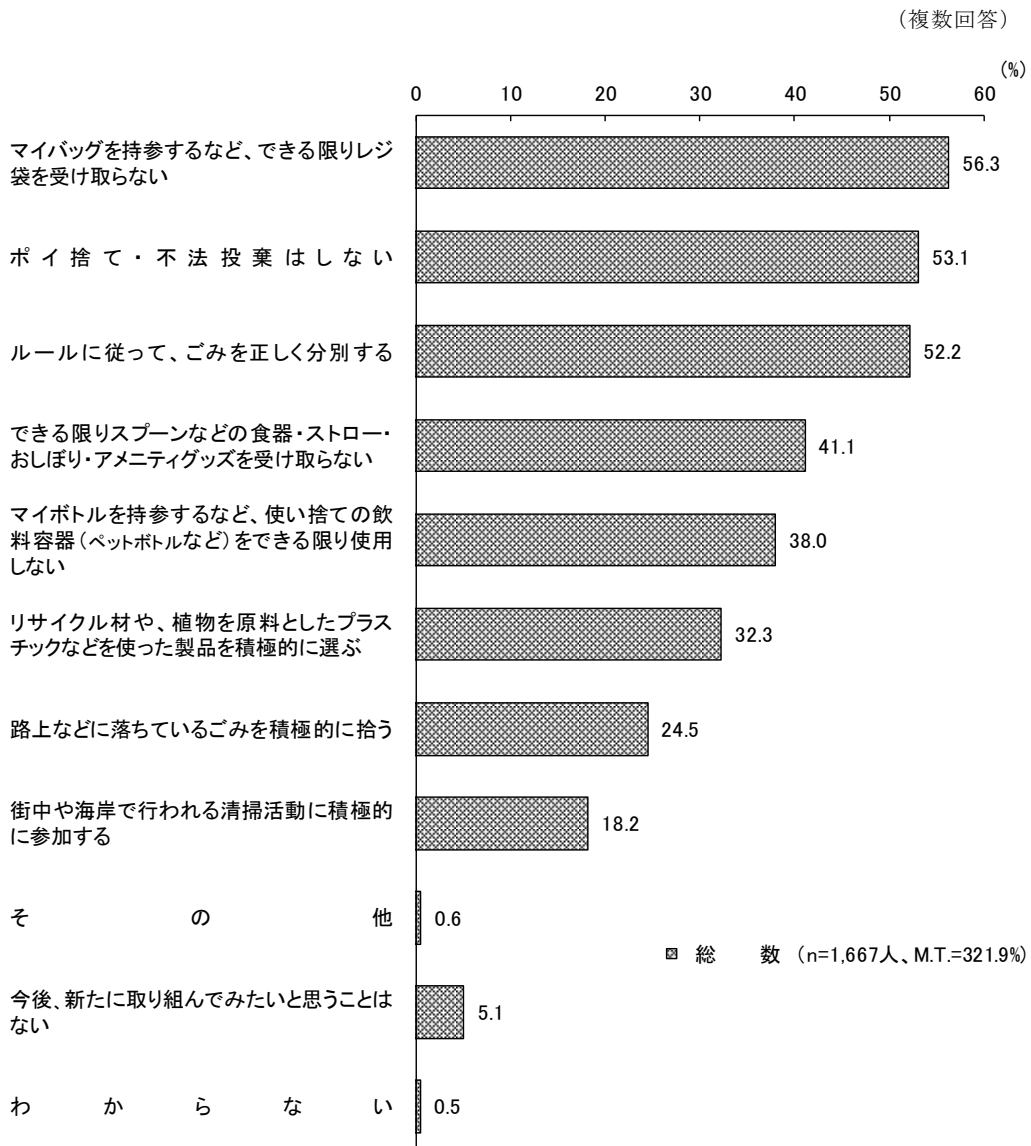
(複数回答)



(4) プラスチックごみ問題解決に向けた取組

問4 プラスチックごみ問題を悪化させないために、今後どのようなことに取り組んでいきたいと思いませんか。現在、心がけていないことで、今後、取り組んでみたいことを、この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

	(上位5項目) 令和元年8月
・マイバッグを持参するなど、できる限りレジ袋を受け取らない	56.3%
・ポイ捨て・不法投棄はしない	53.1%
・ルールに従って、ごみを正しく分別する	52.2%
・できる限りスプーンなどの食器・ストロー・おしぼり・アメニティグッズを受け取らない	41.1%
・マイボトルを持参するなど、使い捨ての飲料容器(ペットボトル)をできる限り使用しない	38.0%



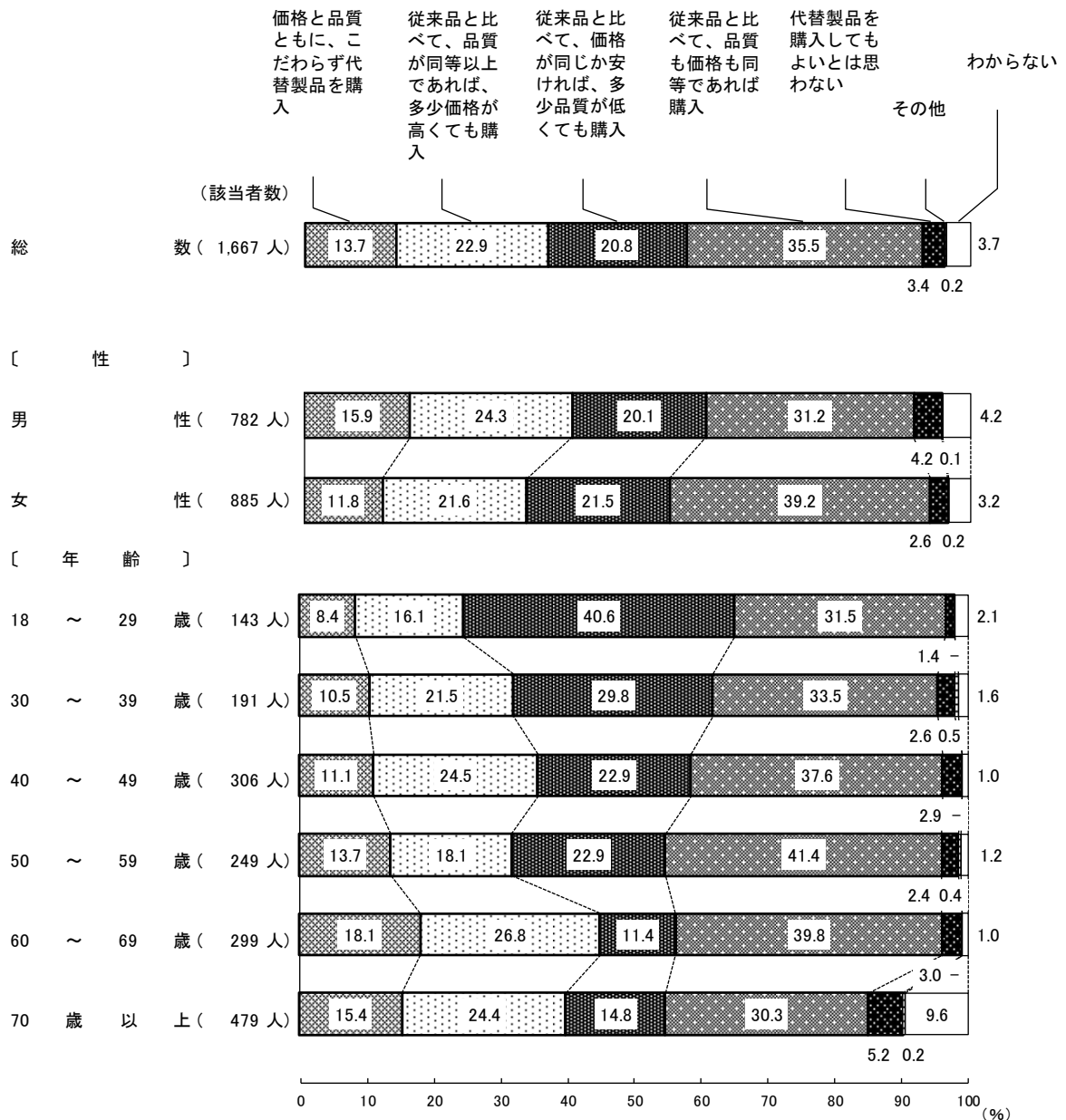
(5) 代替製品の購入条件

(資料2を提示して調査対象者に読んでもらってから質問)

問5 あなたは、普段の買い物の際、どのような条件が合えば、代替製品を購入してもよいと思いますか。価格・品質などの条件のうち、あなたのお考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

令和元年8月

- ・価格と品質ともに、こだわらず代替製品を購入 13.7%
- ・従来品と比べて、品質が同等以上であれば、多少価格が高くても購入 22.9%
- ・従来品と比べて、価格が同じか安ければ、多少品質が低くても購入 20.8%
- ・従来品と比べて、品質も価格も同等であれば購入 35.5%
- ・代替製品を購入してもよいとは思わない 3.4%



2 自然共生社会

(1) 自然に対する関心度

問6 あなたは、自然について、どの程度関心がありますか。この中から1つだけお答えください。

	(参考) 平成26年7月	令和元年8月
・ <u>関心がある</u> (小計)	<u>89.1%</u>	<u>90.6%</u>
・ 非常に関心がある	21.9%	29.2%
・ ある程度関心がある	67.2%	61.4%
・ <u>関心がない</u> (小計)	<u>10.5%</u>	<u>9.3%</u>
・ あまり関心がない	9.4%	8.6%
・ まったく関心がない	1.1%	0.7%

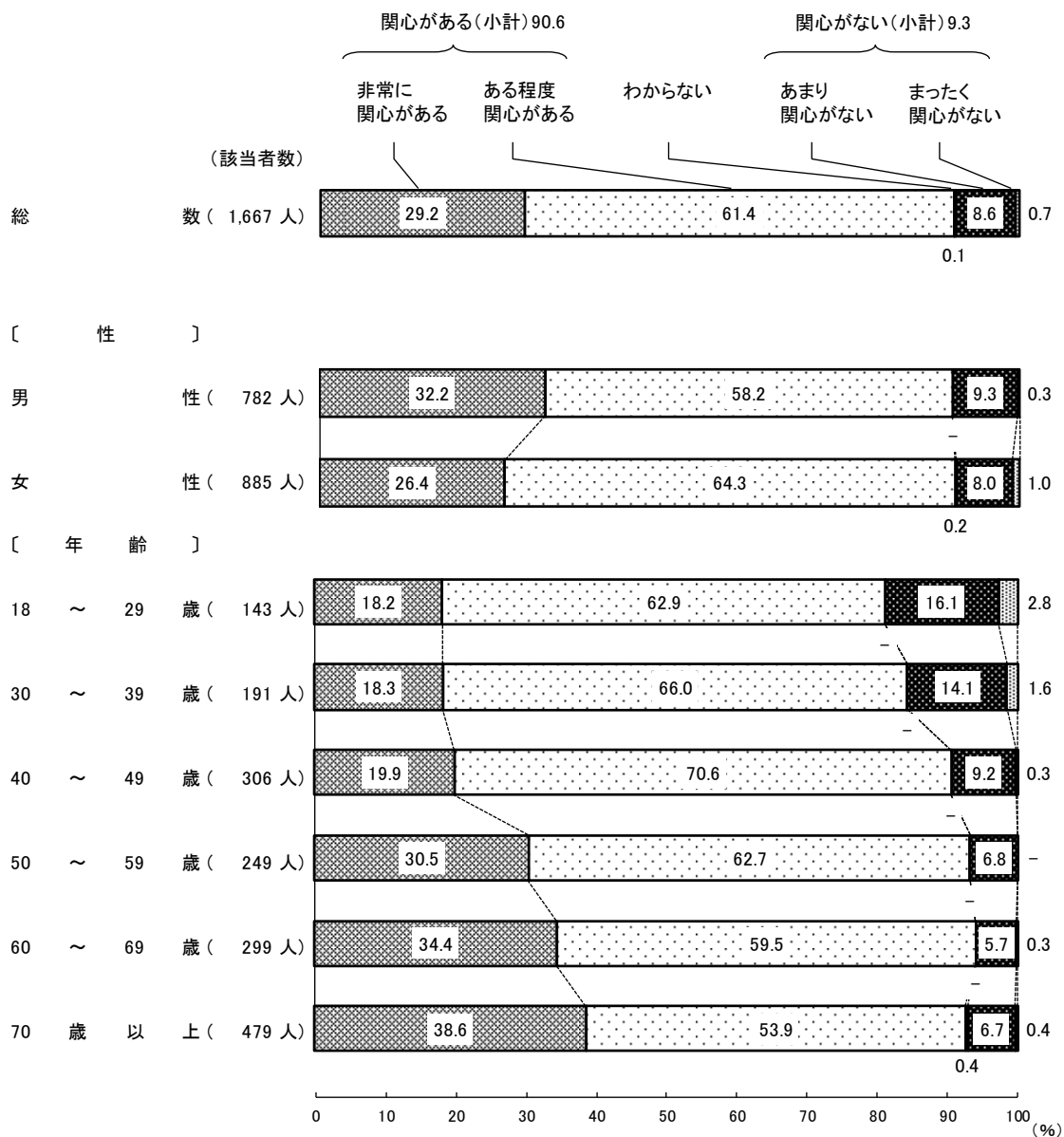


表6－参考 自然に対する関心度

	該 当 者 数	関 心 が (小あ 計) る	非	あ	関	あ	ま	わ
			常	る	心	ま	っ	
			に	程	が	り	た	か
			関	度	(小な 計) い	関	く	ら
			心	関		心	関	な
			が	心		が	心	い
			あ	が		な	が	
			る	あ		い	な	
			る	る		い	い	
			(注 1) る	(注 1) る		(注 2) い	(注 3) い	
平成3年6月調査	2,253	84.5	28.2	56.2	14.3	12.6	1.7	1.2
平成8年11月調査	3,493	83.4	27.9	55.5	15.5	13.0	2.6	1.1
平成13年5月調査	2,072	81.9	27.6	54.3	17.5	15.7	1.8	0.5
平成18年6月調査	1,834	85.7	26.7	58.9	14.0	12.8	1.2	0.4
平成21年6月調査	1,919	91.7	35.2	56.5	8.0	7.2	0.8	0.3
平成24年6月調査	1,912	90.4	29.5	60.9	8.8	8.0	0.8	0.8
平成26年7月調査	1,834	89.1	21.9	67.2	10.5	9.4	1.1	0.4
令和元年8月調査 (うち20歳以上)	1,624	90.9	29.5	61.4	9.0	8.4	0.6	0.1
令和元年8月調査	1,667	90.6	29.2	61.4	9.3	8.6	0.7	0.1

(注1) 平成18年6月調査までは、「どちらかといえば関心がある」となっている。
(注2) 平成8年11月調査までは、「どちらかといえば関心がない」となっている。
(注3) 平成18年6月調査までは、「全然(全く)関心がない」となっている。

(2) 自然の働きに関する認識

問7 あなたは、自然の働きについて、どのようなことが重要だと考えますか。この中からいくつかもあげてください。(複数回答)

		(上位4項目)
	(参考) 平成26年7月	令和元年8月
・CO ₂ や大気汚染物質の吸収などの大気や気候を調整する働き	74.9%	71.2%
・水資源の供給・水質浄化の働き	67.1%	62.6%
・動物・植物など生物の生息・生育地としての働き	56.0%	55.5%
・紙、木材、肥料などの原材料を供給する働き	43.3%	46.7%

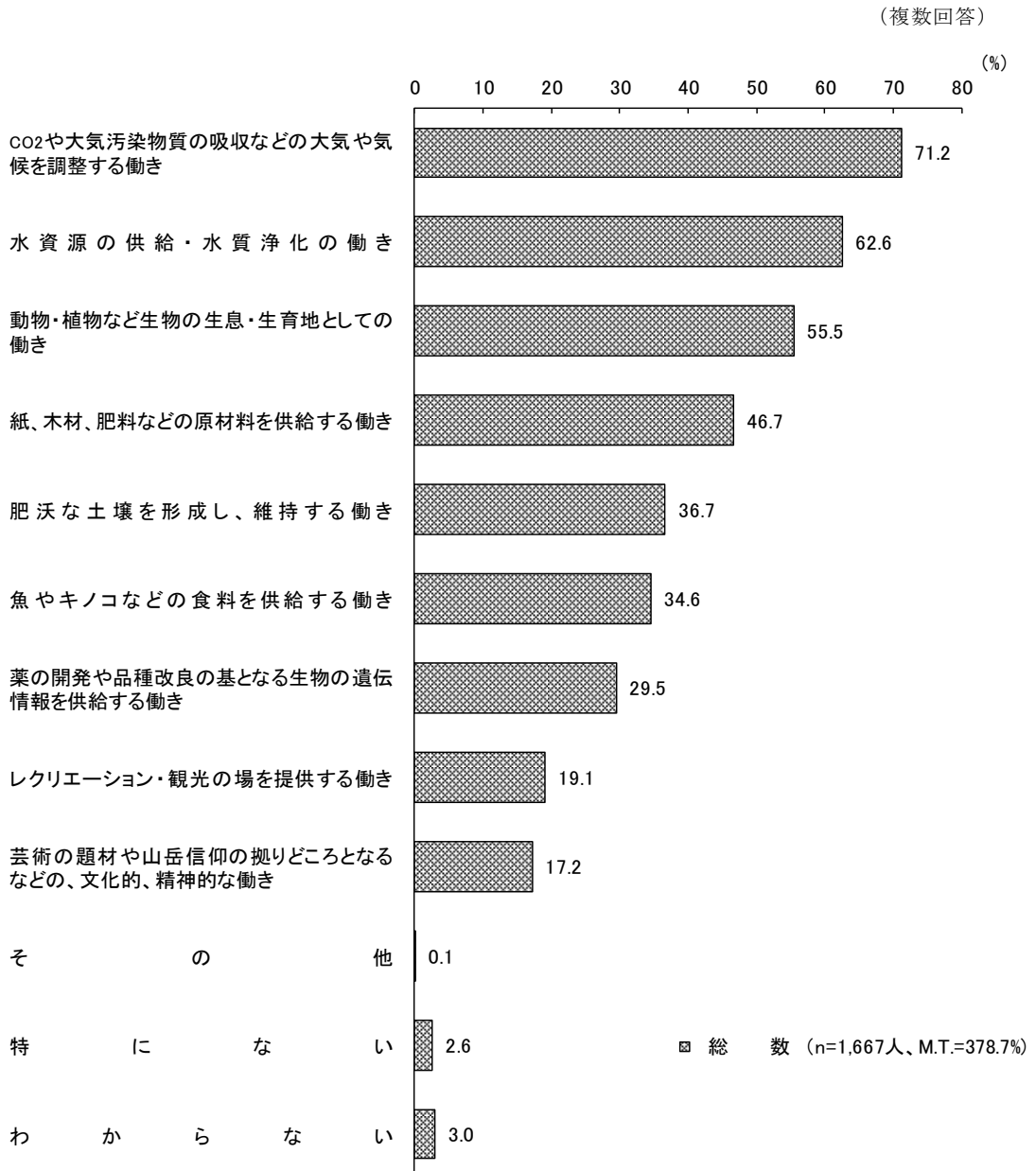


表7-参考 自然の働きに関する認識

(複数回答)

	該 当 者 数	CO ₂ や大気汚染物質の吸収などの大気 や気候を調整する働き	水資源の供給・水質浄化の働き (注2)	動物・植物など生物の生息・生育地とし ての働き	紙、木材、肥料などの原材料を供給する 働き	肥沃な土壌を形成し、維持する働き	魚やキノコなどの食料を供給する働き	薬の開発や品種改良の基となる生物の遺 伝情報を供給する働き (注3)	レクリエーション・観光の場を提供する 働き	芸術の題材や山岳信仰の拠りどころとな るなどの、文化的・精神的な働き	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成24年6月調査	1,912	72.9	76.9	65.0	57.3	48.1	48.1	37.4	23.5	23.0	0.1	1.0	3.2	456.5
平成26年7月調査	1,834	74.9	67.1	56.0	43.3	38.4	40.0	31.2	19.2	20.6	-	1.3	4.1	396.1
令和元年8月調査 (うち20歳以上)	1,624	71.4	63.1	55.0	46.6	36.9	35.0	30.0	18.9	17.3	0.1	2.6	3.1	379.9
令和元年8月調査	1,667	71.2	62.6	55.5	46.7	36.7	34.6	29.5	19.1	17.2	0.1	2.6	3.0	378.7

(注1) 平成26年7月調査までは、「あなたは、自然の働きについて、どのようなものが重要だと考えますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注2) 平成26年7月調査までは、「水資源の供給・水質浄化などの働き」となっている。

(注3) 平成24年6月調査では、「薬の開発や品種改良の基となる遺伝子資源を供給する働き」となっている。平成26年7月調査では、「薬の開発や品種改良の基となる遺伝資源を供給する働き」となっている。

(3) 生物多様性の言葉の認知度

(資料3を提示して調査対象者に読んでもらってから質問)

問8 あなたは、「生物多様性」の言葉の意味を知っていましたか。この中から1つだけお答えください。

	(参考) 平成26年7月	令和元年8月
・言葉の意味を知っていた	16.7%	20.1%
・意味は知らないが、言葉は聞いたことがあった	29.7%	31.7%
・聞いたこともなかった	52.4%	47.2%

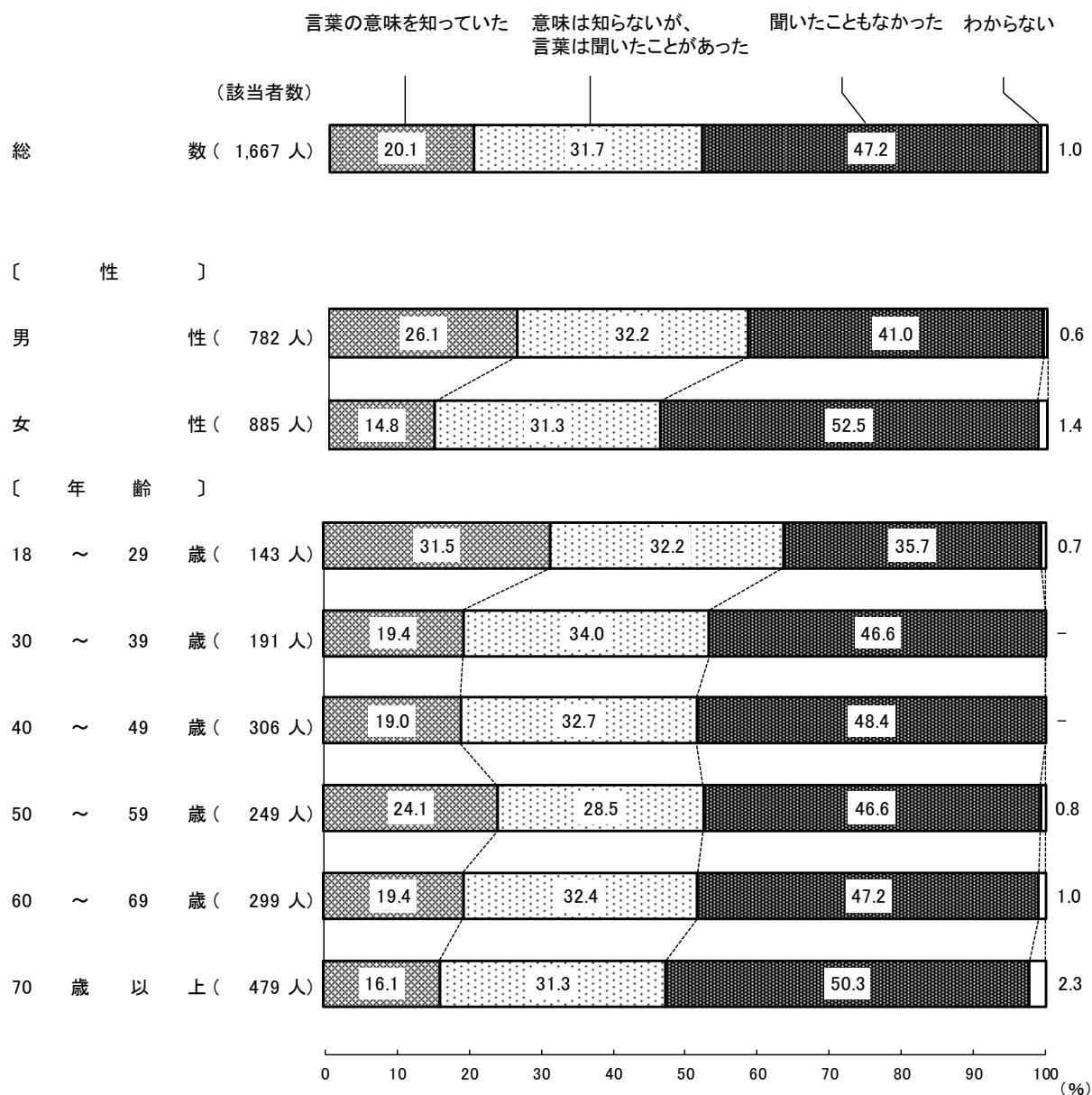


表8－参考 生物多様性の言葉の認知度

	該 当 者 数	言 葉 の 意 味 を 知 っ て い た (注2)	意 味 は 知 ら な い が、 言 葉 は 聞 い た こ と が あ っ た (注3)	聞 い た こ と も な か っ た (注4)	わ か ら な い
	人	%	%	%	%
平成21年6月調査	1,919	12.8	23.6	61.5	2.1
平成24年6月調査	1,912	19.4	36.3	41.4	2.9
平成26年7月調査	1,834	16.7	29.7	52.4	1.3
令和元年8月調査 (うち20歳以上)	1,624	19.7	31.5	47.8	1.0
令和元年8月調査	1,667	20.1	31.7	47.2	1.0

(注1) 平成26年7月調査までは、「あなたは、「生物多様性」の言葉の意味を知っていますか。

この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

(注2) 平成26年7月調査までは、「言葉の意味を知っている」となっている。

(注3) 平成26年7月調査までは、「意味は知らないが、言葉は聞いたことがある」となっている。

(注4) 平成26年7月調査までは、「聞いたこともない」となっている。

(4) 生物多様性国家戦略の言葉の認知度

問9 あなたは、「生物多様性国家戦略」について知っていましたか。この中から1つだけお答えください。

	(参考) 平成 26 年 7 月	令和元年 8 月
・内容を知っていた	4.0%	4.0%
・内容は知らないが、聞いたことがあった	20.8%	21.4%
・聞いたこともなかった	73.8%	73.4%

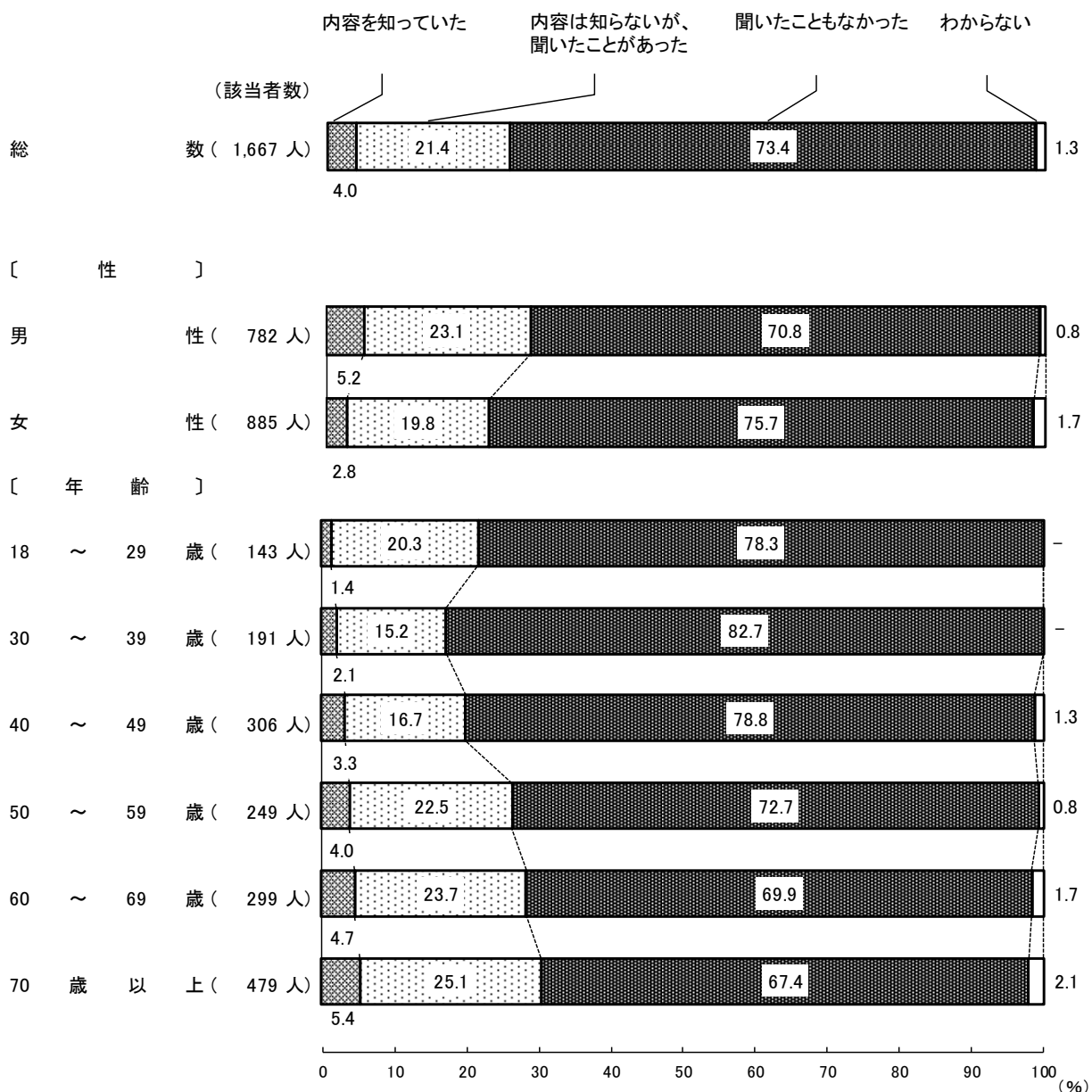


表9－参考 生物多様性国家戦略の言葉の認知度

	該 当 者 数	内 容 を 知 っ て い た (注2)	内 容 は 知 ら な い が 、 聞 い た (注3)	聞 い た こ と も な か つ た (注4)	わ か ら な い
	人	%	%	%	%
平成21年6月調査	1,919	3.6	16.2	77.8	2.3
平成24年6月調査	1,912	6.1	28.3	62.2	3.3
平成26年7月調査	1,834	4.0	20.8	73.8	1.5
令和元年8月調査 (うち20歳以上)	1,624	4.1	21.3	73.3	1.3
令和元年8月調査	1,667	4.0	21.4	73.4	1.3

- (注1) 平成26年7月調査までは、「あなたは、「生物多様性国家戦略」について知っていますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。
- (注2) 平成26年7月調査までは、「内容を知っている」となっている。
- (注3) 平成26年7月調査までは、「内容は知らないが、聞いたことがある」となっている。
- (注4) 平成26年7月調査までは、「聞いたこともない」となっている。

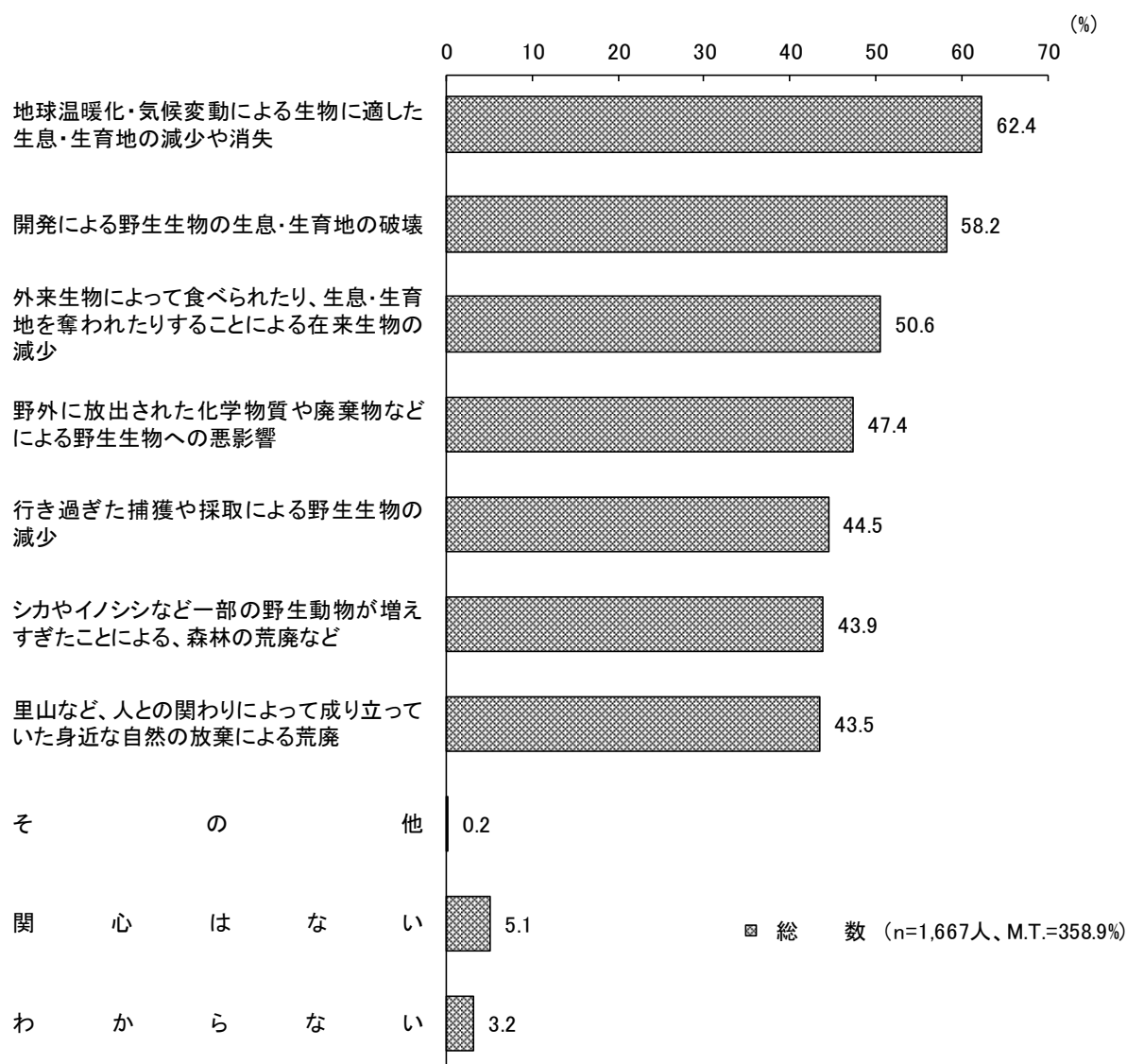
(5) 生物多様性の危機要因への関心事項

問10 生物多様性は人間に様々な恵みをもたらす一方で人間の活動などの影響によって、危機に直面しています。あなたは、生物多様性の危機を招く要因について、どのようなことに関心がありますか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位2項目)
令和元年8月

- ・地球温暖化・気候変動による生物に適した生息・生育地の減少や焼失 62.4%
- ・開発による野生生物の生息・生育地の破壊 58.2%

(複数回答)



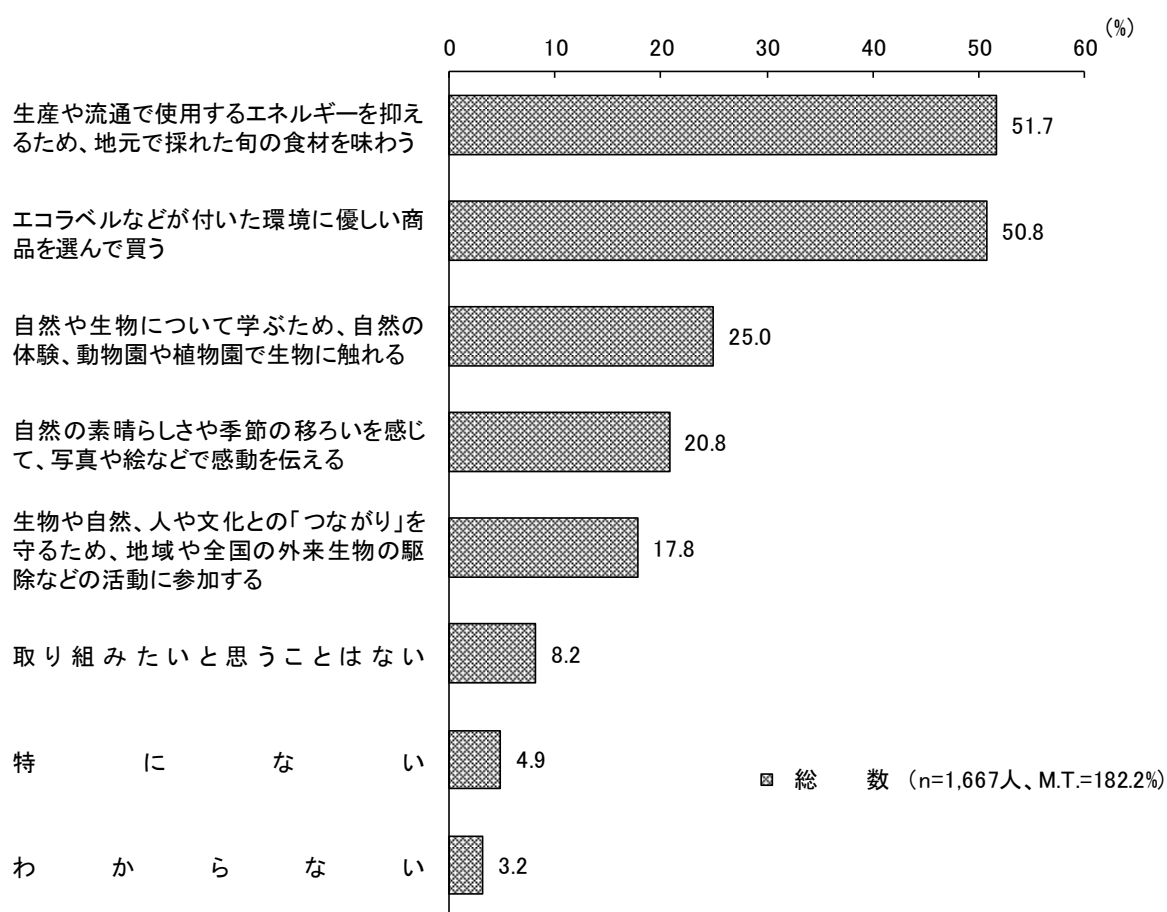
(6) 生物多様性保全のための取組

問 1 1 環境省では、国民が取り組める生物多様性の保全に貢献する行動を次のとおり5つにまとめ、できる行動を皆様に宣言していただくよう呼びかけています。あなたは、この5つの行動の中で既に取り組んでいる、または取り組んでみたいと思うことはありますか。この中からいくつでもお答えください。(複数回答)

(上位4項目)
令和元年8月

- ・ 生産や流通で使用するエネルギーを抑えるため、地元で採れた旬の食材を味わう 51.7%
- ・ エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を選んで買う 50.8%
- ・ 自然や生物について学ぶため、自然の体験、動物園や植物園で生物に触れる 25.0%
- ・ 自然の素晴らしさや季節の移ろいを感じて、写真や絵などで感動を伝える 20.8%

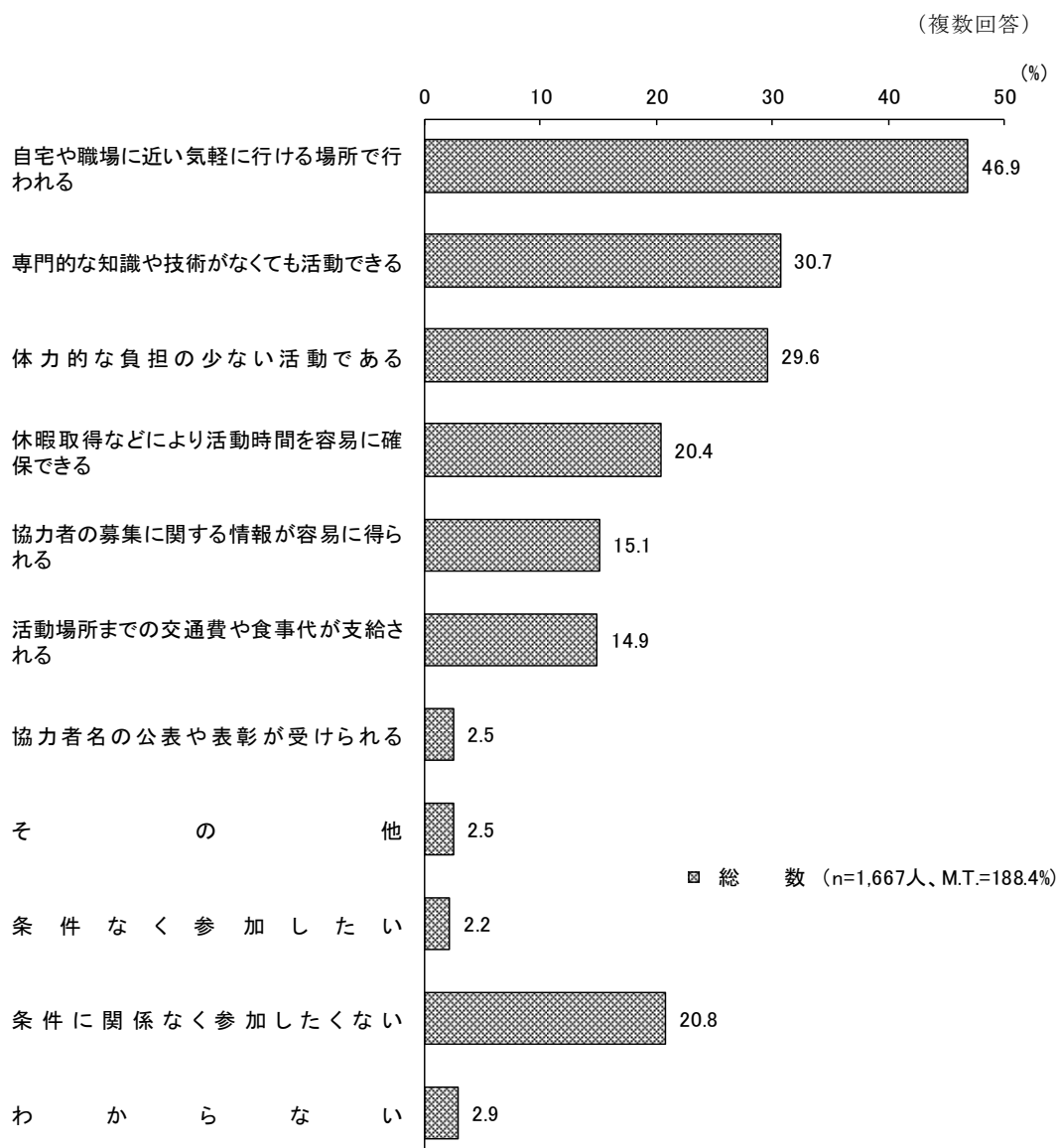
(複数回答)



(7) 生物多様性保全のための活動に関する条件

問12 外来生物の駆除、希少な在来生物の保護など生物多様性の保全を目的とした活動がボランティアなどにより行われていますが、人手が不足しています。あなたは、どのような条件であれば、これらの活動に参加してもよいと思いますか。この中からいくつかもあげてください。(複数回答)

	(上位4項目) 令和元年8月
・ 自宅や職場に近い気軽に行ける場所で行われる	46.9%
・ 専門的な知識や技術がなくても活動ができる	30.7%
・ 体力的な負担の少ない活動である	29.6%
・ 休暇取得などにより活動時間を容易に確保できる	20.4%
・ 条件に関係なく参加したくない	20.8%



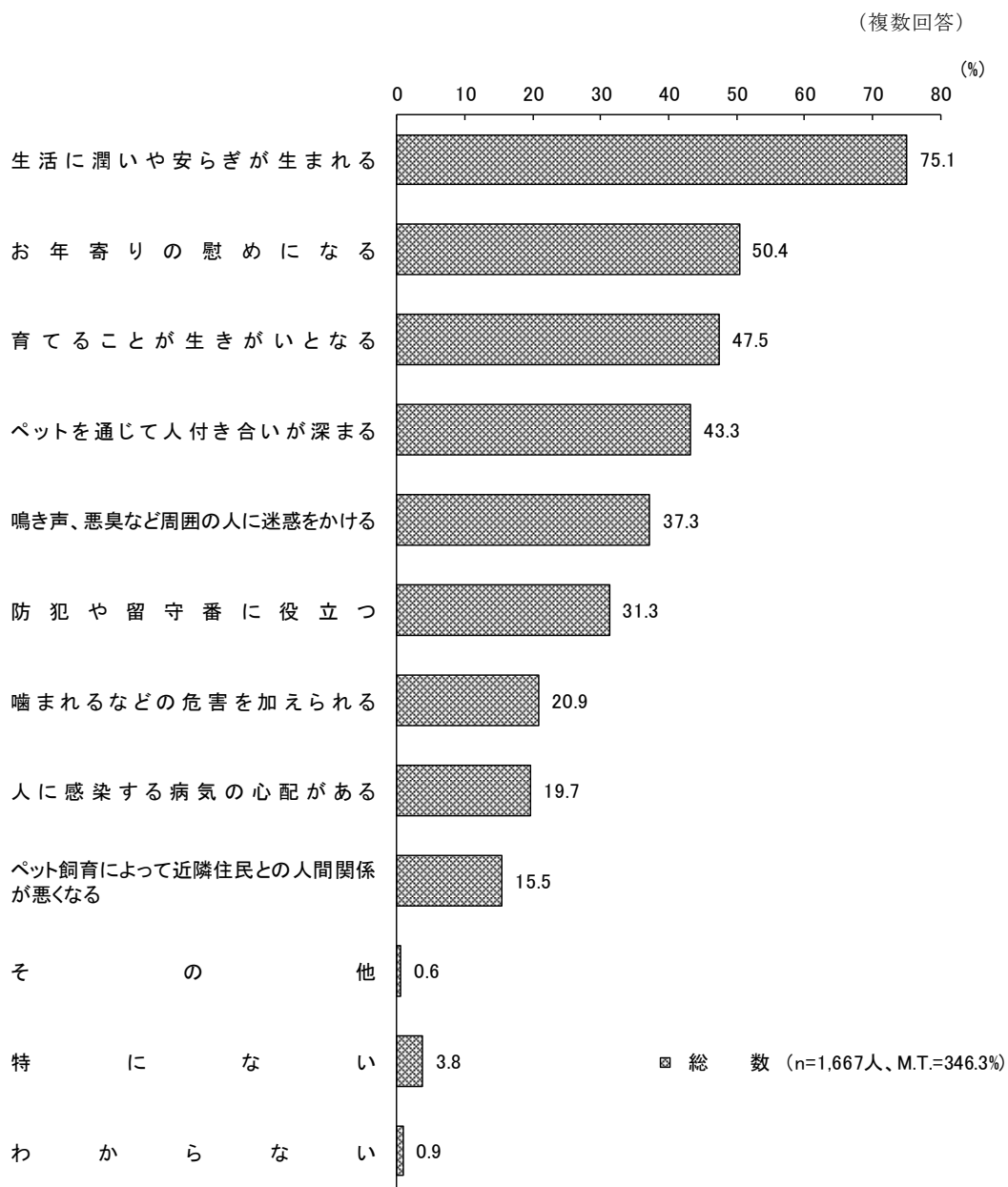
(8) ペットが人に与える影響

(資料4を提示して調査対象者に読んでもらってから質問)

問13 あなたは、ペットを飼育することによって、飼い主または周囲の人の生活にどのような影響を与えますか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位4項目)
令和元年8月

- ・生活に潤いや安らぎが生まれる 75.1%
- ・お年寄りの慰めになる 50.4%
- ・育てることが生きがいになる 47.5%
- ・ペットを通じて人付き合いが深まる 43.3%

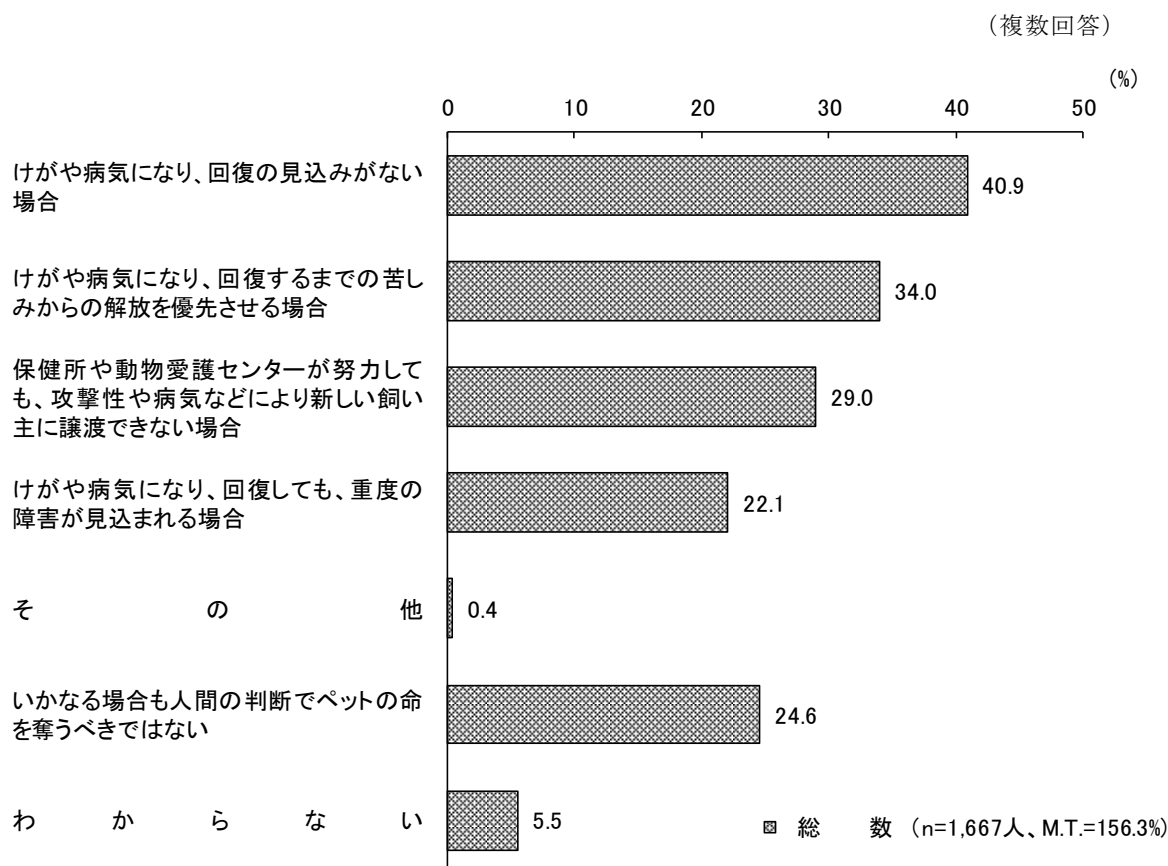


(9) ペットの殺処分に対する意識

問14 あなたは、ペットの殺処分について、どのような場合に許容できるとお考えですか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位3項目)
令和元年8月

・けがや病気になり、回復の見込みがない場合	40.9%
・けがや病気になり、回復するまでの苦しみからの解放を優先させる場合	34.0%
・保健所や動物愛護センターが努力しても、攻撃性や病気などにより新しい飼い主に譲渡できない場合	29.0%
・いかなる場合も人間の判断でペットの命を奪うべきではない	24.6%



(10) 人間とペットが共生する社会の実現に向けた施策

問15 あなたは、人間とペットが共生する社会の実現のために、行政がどのような取組に重点を置く必要があると思いますか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位3項目)
令和元年8月
54.4%

- ・ 飼い主の迷惑行為に対する規制や指導を強める 54.4%
- ・ ペットの愛護や正しい飼い方について、学校や社会教育の場で取り上げる 46.9%
- ・ テレビ、新聞、インターネットなどでペットの愛護や正しい飼い方の重要性を訴える 40.7%

(複数回答)

